

質問 和田議員（自民・岐阜市）令和7年12月10日（水）

3 関係人口の創出に向けた取組について

答弁 知事

近年、人口減少はますます厳しさを増しており、本県においても2050年には約137万人と、大幅な減少が見込まれております。今後、地域内人口のみでは地域経済は縮小し、コミュニティの維持や公共交通の確保などが困難になることも想定されます。

こうした中、「人やモノが集まる岐阜県」を実現するべく、本県との積極的な関わりを持ち、地域を支える人材となり得る関係人口の創出・拡大は、議員ご指摘のとおり大変重要だと考えております。

幸いにも、本県は日本の真ん中に位置し、世界遺産「白川郷」や飛騨高山の古い町並、下呂温泉、中山道馬籠宿などの主要観光地に加え、「美濃和紙」や「関の刃物」などの伝統産業、「飛騨牛」や「鮎」を始めとする高品質で美味しい食を有し、世界の人々が訪れたい場所として、現在、大変注目されております。

しかしながら、先ほどの答弁でも申し上げましたが、岐阜県自体の認知度は低く、その魅力を十分に生かしきれていない、発信できていない状況にあります。

そこで、関係人口の創出に向け、まずは「岐阜県はおもしろい」、「岐阜県のことをもっと知りたい」と感じていただくべく、広報戦略を抜本的に見直し、特別チームによるSNSの活用など、本県の魅力を強力に発信するとともに、ニーズに沿って効果的に届ける取組をスタートさせたところでございます。

その上で、本県に関心を持っていただいた方との交流を深め、絆をつくる環境整備も進めております。

具体的には、政策オリンピックで実施した「ふたつのふるさと 海・山の防災交流事業」では、県外の子どもたちが本県の子どもたちと一緒に本県の自然や文化に触れる体験をするとともに、楽しみながら防災の知識を学びました。

また、今月1日からは「アグリパーク重点推進モデル」の募集を開始し、都市住民などの多様な主体が気軽に農業を体験し、楽しみながらノウハウを学び、その延長線上で本県での新たな農業参入につなげる「アグリパーク構想」の実現を目指しているところでございます。

さらに、関係人口創出の取組は、それぞれの地域の資源や魅力を熟知した市町村が行うことが効果的であり、例えば「保育園留学」や都市部の大学生と協働した地域課題の解決など、工夫を凝らした積極的な取組を行っている市町村も出てきているところでございます。

県としては、市町村職員との意見交換の中で、優良事例や先進事例を共有するなど、

先導的な取組を支援しているところでございます。

こうした取組を通じて、関係人口となった方と地域との結びつきを深め、将来的な移住・定住へつなげてまいります。

担当課 地域振興課

電話番号 058-272-1830

メール c11143@pref.gifu.lg.jp